

愛知県 2022/12/27(火)

名経済大と地元企業 地域活性化図る協定

就業体験など連携

名古屋経済大（犬山市内久保）が、地元企業と「地域貢献に関する連携協定」の締結を進めている。十二月には食品卸売業「中部魚錠」（同市五郎丸）、漬物製造販売業「扶桑守口食品」（扶桑町山那）と結び、今



協定書を手にする名古屋経済大の佐分学长（中央右）と中部魚錠の伊藤社長（同左）ら
 〓 犬山市五郎丸の中部魚錠で

後も広げるといふ。

インターンシップ（就業体験）などを通じ、協力して商品開発や人材育成に取り組むことで、地域活性化を目指す。学生には社会を学ぶ機会となり、企業は交流サイト（SNS）を使った情報発信や商品づくりに若い感性を生かせる。

扶桑守口食品とはこれまでにも「守口漬」を使った商品開発で連携しており、中部魚錠とも恵方巻きの新商品開発を進めている。中部魚錠との協定式で、佐分晴夫学長は「学習したことを実践する場になる」と述べ、伊藤正久社長は「学生の発想に刺激を受けながら、お互い盛り上げられたい」と期待した。

大学は今後、市内に拠点があるJA愛知北や調味製造「コーミ」などとも協定を結ぶ予定。